

公表日 令和 8年 2月 5日
利用児童数

2026年1月22日 27名

回収数 17名

事業所名	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4	0	2	どちらともいえない：部屋は広くはないが他の(外の)活動が多いと思った。現地で確認をしていない為わからないとした。クールダウンの部屋が無いと聞いた。	部屋の使い方を工夫したり外の活動を通して効率良く活動が出来るように努めてまいります。	
	2 職員配置は適切であると思いますか。	8	0	1	8	わからない：何人いるのかわからない。現地で確認をしていない為わからないとした。 いいえ：子どもの様子によって対応できないことがあった。	定められた配置基準を満たしております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	7	どちらともいえない：現地で確認をしていない為わからないとした。	個々の障害特性に応じた配慮に努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	5	1	3	どちらともいえない：現地で確認をしていない為わからないとした。	活動によって配置を変えたり心地よく過ごせるように環境を整えています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	5	1	0	いいえ：病院でのアドバイスをその都度伝える時間が無い	営業時間内で対応しています。面談、お電話、SNSなど保護者様の時間に合った対応が可能です	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	6	0	2	記入無し	公表しているプログラムに沿って支援、活動しております。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9	5	1	2	記入無し	お子さま、保護者様のニーズに基づいた個別支援計画を作成していきます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	6	0	4	記入無し	本人支援、家族支援、移動支援を必要に応じて適切に支援しております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	6	1	0	記入無し	計画に沿って適切な支援ができるように努めてまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	6	0	1	記入無し	お子さまの様々な状況や状態に合わせて季節に沿って固定化されないような活動を実施しております。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	0	12	記入無し	スポーツプログラムでは特に他の放課後児童クラブと交流を深め活動しております。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0	記入無し	事業所を利用していただくときには引き続き丁寧に説明を行ってまいります。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	2	2	記入無し	引き続き丁寧な説明に努めてまいります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	5	どちらともいえない：まだ詳しくわからない	代表による講演会の機会がありパンフレット等で情報提供しています	
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	13	2	2	0	いいえ：理由なく帰宅したことがあったが連絡が無くもやもやした。	お子様の様子や状況を事前にお話ししておりその日のお子様の状況によって危険がある場合は他のお子様の安全のために帰宅を促すこともあります。連絡も実施していきます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	2	2	記入無し	面談や電話、公式LINE、訪問で保護者様とは必要に応じて密に相談助言を行っております。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	1	0	いいえ：子供から職員さんの話をよく聞きます。子供がイライラしています	職員が同じ対応が出来るように改善します	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	6	9	いいえ：必要ないと思います	ニーズがある場合は必要に応じて今後検討致します。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3	1	1	記入無し	保護者様、お子さまが相談したいと思った時にはすぐに連絡、相談が出来るように努めております。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	2	1	記入無し	情報の伝達をその都度行うことで連携が取れるようにしております。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	0	1	記入無し	HPには事業所の活動内容、自己評価を記載したりSNSや通信で日々の様子を発信しております。	
	22 個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2	記入無し	個人情報の取り扱いには職員間で周知し厳格してまいります。	
	非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	1	6	いいえ：質問を最後まで書かれていない	各マニュアルを策定し、応じた訓練を実施しております。
		24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	1	12	記入無し	非常災害時に備え水、食料の備蓄や衛生用品の用意があり、訓練の際には子どもたちにも知らせております。
25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		12	0	1	4	記入無し	引き続き安全計画のもと、安全確保に努め周知に努めてまいります。	
26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		11	1	1	4	記入無し	怪我等があった際には保護者様に連絡し状況など報告し適切に対応してまいります	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	1	1	いいえ：不満があるようだが相談できる職員がいない	信頼関係を築いていけるよう努めてまいります	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	6	1	1	どちらともいえない：学校に行っていないので仕方なく、行かなくてはならない場所だと思っています	お子様にとって楽しい場所になるように職員間で連携を取ってまいります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	1	1	1	どちらともいえない：普段いけない場所などのプログラムはありがたいのですが特性を理解しているスタッフが少ないと感じる	これからも貴重な体験を増やししながら職員も学んでいけるように努めてまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わくサボジュニア広島光町		公表日 令和 8年 2月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・部屋の使用目的によって必要であればパーテーションで区切るなどの工夫をし、安心して過ごせるようにしています。	・スペースの有効活用を心掛けていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	・基準の配置数は満たしています。	・職員のスキルアップに努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・室内には段差が無いが、玄関出入口、トイレ出入口の段差ではスタッフを配置するなど安全に活動できるようにしている。	・靴箱の靴が分からなくなる事があるため、靴箱を固定化する、靴箱に名前を貼るなどの工夫をします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日掃除・消毒を行い、感染症の感染や拡大防止に努めております。	・引き続き、清潔で心地良く過ごせる環境を目指していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・必要に応じて面談室を個別に利用して頂く事もあります。	・個別での活動がしやすいように、机の配置などを再度検討してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・出来ている事にも焦点を当てるように意識をし、成功事例をスタッフ間で共有しています。	・引き続き、年齢や立場に関係なく、意見を出し合えるような職場であるように、努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・スタッフに保護者評価表の内容を周知し、ご意見の把握に努めております。	・年に1回の保護者評価表の把握にとどまらず、職員全体で保護者のニーズを把握し、改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・対面での面談だけでなく、日ごろから連絡アプリを利用するなど工夫をして、意見を伝えやすい環境になる様に努めています。	・引き続きスタッフが年齢や立場に関係なく、意見を出し合える環境にし、業務の改善を図ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・第三者による外部評価については、現状は行っていないが、スタッフからの意見を集約しマニュアル化していく。	・今後機会があれば活用を検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・定期的に発達障害についてや、特性の理解、虐待防止研修などの研修会を行っています。	・外部研修会への参加を促し、スタッフ間で業務を調整するなど、参加しやすい環境を整備していきます。
適切な支援の提...	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホームページに掲載しております。	・今後もスタッフ間で意見を出し合いながら作成していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・本人・保護者のニーズを確認し、分析・検討をした上で計画の作成を行っています。	・見学や体験時の担当者からも丁寧な聞き取りを行い、計画を作成し共有していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・週1回のミーティングでその子の課題について共有する場を設け、支援方針を計画書に反映させています。	・スタッフが迷わないよう、支援方法を共有し実践いたします。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・毎日朝のミーティング時間に計画を共有し、支援計画に基づいた支援を心がけています。	・計画は都度見直し、追記や修正などがあれば行い、全スタッフへの周知を行います。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・法人内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の子どもの特性や状況を聞き取り作成しています。	・それぞれの子どもを特性を理解し、行動観察から得た情報をアセスメントシートに記載していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインに明示されている項目をそれぞれ設定し、子どもの強みを活かして課題に取り組みるように支援内容を設定しています。	・引き続きより良い支援に繋がるよう支援内容を都度見直ししてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・活動目標に沿ってスタッフ間で意見交換を行いながらプログラムの立案を行っています。	・これまでのプログラムの振り返りを行いながら、前回よりもより良いプログラムを展開できるように努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・プログラムの担当スタッフは固定せず、それぞれ、良いところを取り入れながらプログラムを工夫しています。	・変化が苦手な子どもには事前しっかりと説明をするなど、楽しく活動ができるように、心がけていきます。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・主に午前中は個別活動、午後には小集団での活動を行っています。負担なく行えるよう、状況に応じて対応しています。	・それぞれのこどもの状況を理解し、対応をしていきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・連絡ツールでスタッフの翌日の動きについて周知、当日朝のミーティングで活動内容や、スタッフの役割など共有をしています。	・今後も漏れの無いよう、周知・徹底してまいります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・ミーティング内容について、連絡ツールで共有し、振り返りに参加できなかったスタッフも把握ができるようにしています。	・連絡ツールだけでは伝わりにくい事もあるため、普段から意見を言い合える環境を心掛けています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・全スタッフがその日の個々の詳しい状況について記録を行っています。また日々の記録に抜けがないように確認を行っています。	・記録方法について、より詳細に具体的に内容が把握できるように、各スタッフが内容を精査していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・6か月に1回モニタリングを行っています。	・必要に応じてモニタリングを行い、支援計画に反映させていきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・ガイドラインを理解し、内容をふまえた上で、子どもたち一人一人にあった支援内容を提供しています。	・スタッフ一人ひとりがガイドラインについて理解した上で支援を提供できるよう、ガイドラインについても情報を共有します。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・子どもたちが自分で選べるよう、活動の中で選択肢を提供する事を意識しています。	・選択から言語化する、など、それぞれの目標に沿って、少しずつステップアップできるように支援を行います。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管が同席しています。	・今後は子どもとの関りが深いスタッフも同席できるよう調整し、スタッフのスキルアップにも繋げていきたい。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要であれば通院同行を行い、連携を図っている。	・今後機会があれば積極的に各機関との連携を行っていききたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・毎月の通所状況や様子について共有しています。負担なく通学に結びつくよう、学校と連携を行っています。	・参加がしやすい学校行事などは、早めに情報を得るようにして、子どもが学校に行けるように準備していきます。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・現時点では機会はありません。	・今後は必要に応じて実施を検討致します。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・スムーズに移行できるよう、情報を共有し、体験時に同行するなど連携をとっています。	・負担なく移行ができるよう、不安感の聞き取りを行い、丁寧に説明を行うように心がけてまいります。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	・適切な対応方法や関わり方について相談がある時は児童発達支援センターに連絡をし、アドバイスを頂いています。	・連携によって得たアドバイスは、スタッフ全体に周知し、スタッフ全体のスキルアップを図ります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・現時点では機会はありません。	・今後地域のイベントなどで交流の機会を提供できたら良いと考えています。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・現時点では機会はありません。	・今後機会があれば積極的に参加をしていきたいと考えています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・家族に日頃の活動の様子などを詳しくお伝えするように心がけており、支援方針を共有しています。	・今後も何かあればすぐに相談できる関係性を構築していきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・無料でトークイベントを開催し、誰でも参加できる研修会を開いたり、ラジオで法人の活動について紹介を行っています。	・困った時にすぐに相談ができるように相談窓口を設けていますが、相談件数が多いため丁寧に迅速な対応が必要です。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・分かりやすくご理解いただけるよう、契約時に書面を見ながら説明しています。	・変更時には漏れなくお伝えするよう心掛けています。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談を通して、本人・家族の意向を確認し、スモールステップで達成感を得られるような目標設定を行っています。	・子どもや家族のニーズの聞き取りをしっかりと行い、より具体的な内容の支援計画にしていきたいと思います。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者の方に書面で確認をして頂き、署名を頂くようにしています。	・分かりやすい表現や具体的な取り組み例を記載し、出来る事を伸ばしていける前向きな計画書を作成を心掛けています。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡を頂いた時には迅速で丁寧な対応を心掛けております。	・希望があれば随時面談を行うなど、今後も対応をしていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・現時点では機会はありません。	・送迎時に家族との会話を大切にしております。保護者からの要望があれば積極的に開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情について、事実確認や情報把握を行い、今後の対応について検討し、スタッフに周知徹底しています。	・日頃から保護者との連携を行い、何かあればすぐに連絡を頂けるようにします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・書面で月1回の通信を配布、またSNSを利用して、随時活動内容などについて情報の発信を行っている。	・今後も普段の様子についてSNSにアップし、子どもの日常を見てもらえるように努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・学校との連携など、関係機関と連携を取る場合には、本人、保護者に同意を得るようにしています。	・SNSなどで写真を掲載する場合には特に注意を行い、今後も個人が特定されないよう気を付けていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・イラスト、書面化、チェック表など、本人に伝わりやすい伝達方法試しながら、最適な伝え方を実践しています。	・重要度の高い内容については電話連絡を行うなど、漏れないように注意をしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・事業所主催の行事は行っていませんが、地域住民との挨拶などは積極的に行っています。	・活動をより理解して頂けるよう、積極的に挨拶などを行ってまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・有事を想定し、スタッフがそれぞれの役割分担を行い、対応できるよう訓練しています。	・引き続き訓練の実施・内容の周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・定期的に訓練を実施し、日常のプログラムにも防災をテーマにした学習を行うようしています。	・有事に備えた備蓄品などを定期的に確認し、必要であれば準備します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・登録時に保護者への聞き取りを行い、漏れなく調査しております。	・引き続き情報を正確に聞き取り、漏れなく把握し、スタッフに周知していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・現在食物アレルギーのある子どもがいません。	・食物アレルギーの子どもがいる場合には、医師の指示書入手し、指示に基づく対応を行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・具体的に危険な個所や場面をスタッフで共有し、どの様に対応するか意見を出して方針を決めています。	・引き続き安全に留意しながら支援を行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・子どもの安全確保について、家族との連携、共有を行っています。	・引き続き内容の周知を図ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・毎回ヒヤリハットを共有し、原因分析、対応方法、スタッフ間での周知・徹底、ご家族への方針の報告を行っています。	・引き続き安全に留意しながら支援を行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止研修を実施しております。またスタッフ間で意見が言いやすい環境を心掛けています。	・スタッフで気になる事が共有しやすいよう、スタッフ間のコミュニケーションを大事にし、スタッフのメンタルにも配慮します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・どのような場合に止む終えず身体拘束を行うか、個別支援計画書に記載しています。	・必要な場合には丁寧な説明を行うとともに、スタッフ間でも身体拘束について共通の認識を持てるよう説明を行います。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくサボジュニア広島光町		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 13日	～	R8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R8年 1月 13日	～	R8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スポーツ療育に力を入れており、プログラムではバトミントン、フットサル、野球、卓球など、様々なスポーツを取り入れています。	・体を動かすきっかけ作りとして、スタッフや他の子どもと一緒に、気軽に始められるスポーツに取り組んでいます。体力の向上はもちろん、脳やココロなど様々な発達発育に良い影響を与える事が期待できます。プレー中にお互い声を掛け合うなど、互いのコミュニケーション能力の向上が期待できます。	・法人内で合同で行うプログラムや、地域のスポーツ大会への参加にも取り組んでいます。同年齢だけでなく、違う世代の人と、同じ目的を持ってスポーツに参加する事で、自然に社会性を育てて行く事ができます。
2	・不登校の子どもや、発達に特性がある子ども、一人一人のペースに合わせて楽しくプログラムや学習支援を行っています。	・それぞれの学習の進み具合を把握し、負担なく取り組んでいきます。子どもが楽しんで学習できるように、工場見学や社会科見学など、プログラムに多く取り入れています。経験値を増やして少しずつ自信に繋がっていきたいと考えています。	・様々な事に興味・関心を持って、将来の夢を抱けるように学習やプログラムを提供していきます。その夢の実現のためには今何ができているか、課題だけでなく、強みを一緒に考えていきます。
3	・スタッフ一人一人が強みを活かし、意見を出し合う事で、子どもをみんなで支援するというチームワークの意識が強いところです。	・スタッフの年齢や職歴に関係なく、それぞれの意見を尊重し、話し合いをしながら、より良い支援方法をスタッフみんなで考えています。課題解決のための支援のヒントは、できている事から得られるよう意識しています。	・一人一人の支援力向上のため、積極的に講習会に参加できるよう環境整備を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別スペースがなく、必要な時には面談室を個別スペースとして利用して頂いています。面談中、個別での時間が必要になった時、スタッフルームをやむを得ず利用して頂く事もあります。	・事業所の広さや、間取りの問題があります。	・バーテーションで区切る、対面の機の設置だけでなく、壁に向かって座れる機の設置など、限りあるスペースでも個別で過ごせるような工夫を行ってまいります。
2	・どこにも相談が出来ず困っているご家族が多くいると思いますので、事業所主催の、ご家族にも参加して頂ける研修会やイベントがある事を周知していくことが今後の課題です。	・月に1回程度、事業所の代表による、トークイベント開催やラジオ番組の放送がされているが、SNSや通信紙での告知ができていなかった事が要因です。	・普段のご家族とのコミュニケーションの中でも、積極的にイベントなどの告知を行ってまいります。
3	・地域とのつながり・交流についてはもっと出来る事を探していけたらと考えています。	・イベントなどで他の事業所と合同のバスケットボール大会などに参加をしたこともあるのですが、定期的な交流ができる場がない。	・プログラムで地域の清掃や買いものを取り入れ、周辺の事業所や住民との関りを持っていく。